

# 国の一番の宝とは・・・？ ありがたいの反対の言葉は・・・？

## 武雄河川事務所 最近の話題

11月4日(火)に唐津市立湊小学校で開催された出前講座に興梠建設専門官と一緒に参加しました。当日、湊小学校では“原子力事故を想定しての防災訓練”が行われ全校生徒約130人全員の安全確認をした後に体育館に集合し建設専門官から“自然災害から身を守るための心構え”ということで講話が行われました。今回参加して、国の一番の宝は子ども達であること。そしてその宝を守るのは親・家族だけでなく周りの大人達であること、そして自分自身であることを改めて感じました。低学年の子ども達にとっては難しい話もあったと思いますが、誰の前にも突然訪れるのが自然災害。何かひとつでも覚えてくれ“もしも”の時に役立つことを願っています。そして今の生活が当たり前ではなく“ありがたい”と感謝すべきことなんだと感じてくれたら嬉しいです。(“有り難う”の反対の言葉は“当たり前”だそうです)

何かひとつでもいいから覚えて、おうちの人に話してね！  
そしておじいちゃん、おばあちゃんに昔あった災害について聞いてみてください。

緊急の場合は車で逃げちゃダメよ～。水災害のときは長靴じゃなく運動靴で逃げてね～。

子ども達へのお土産は  
防災かるたとクリアファイル



佐賀大学北川教授監修

低学年の子ども達には身近なもの、覚えやすいツールを使って防災について勉強して欲しいなあ♪



佐賀県は比較的、災害が少ない場所だけど、旅行で出かけたとき、大人になって就職して別の県に住んだとき、その場所がどういふ所なのか知っておくことも大事ですよ。

何か一つ持って逃げるとするならば  
“自分の命”を持って逃げてください。

自然災害って何がありますか？

講話後に3人の子ども達が  
感想を発表してくれました

5年生の子ども達が発表してくれました



湊小学校は学校の教育理念に“防災教育”が組み込まれていて素晴らしい学校だと思いました。  
建設専門官の言葉もとても心に沁みました！

